

平成 3 0 年度

高知県立高知国際中学校

適性検査問題 A

注 意

- 1 「はじめなさい。」の合図^{あいず}があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 検査問題は、1 ページから 8 ページで、問題番号は **1** から **3** まであります。
- 3 解答用紙は問題用紙の中にはさんでいます。
- 4 「はじめなさい。」の合図があつたら、まず、問題用紙や解答用紙の決められた場所に**受検番号**を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の決められた場所**に書きなさい。
- 6 検査時間は **4 5 分間**です。
- 7 質問や問題用紙・解答用紙に印刷ミスがあるときは、静かに手をあげてください。
- 8 「やめなさい。」の合図があつたら、すぐに筆記用具を置き、指示にしたがってください。

受検番号

問題は、次のページから始まります。

2 次の文章を読み、後の問1～5に答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

問 1 文章中の——線部 1 に「裏付ける」とありますが、ここでのこの言葉の意味として適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 書かれていることだけではなく、その裏にある心情も読み取る。
- イ 物事を一面からではなく、他方面からも証拠をあげて確実にする。
- ウ 秘密にしたりせずに、すべての事情をくわしく述べる。
- エ 衣服の下に衣服を重ねるように、言葉をていねいに重ねる。

問 2 文章中の□には、「世の中の人たちがふつうに知っていること」という意味の熟語が入ります。当てはまる熟語を文章中からそのままぬき出して書きなさい。

問 3 この文章の構成の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 初めに一般的な意見にふれてから、具体例を三つ用いることで一般的なものとは異なる考え方があることを示し、終わりに自分の意見をまとめている。
- イ 初めにこの文章を書いた目的を述べ、その理由を説明してから具体例を用いて実感することの重要性を語り、終わりに私たちににとって大切なものについて説明している。
- ウ 初めに自分の意見を述べ、自分の体験を具体例として用いて説明してから予想される反対意見に対する反論をし、終わりにもう一度自分の意見を述べている。
- エ 初めに自分の実感を述べてから、具体例を交えながら自分の体験を語り、終わりにその体験を通して持った実感は誰にでも当てはまることを確認している。

問4 あおいさんとひなたさんは、この文章を読んで、わかったことについて、次のような話し合いをしました。次の【会話】を読み、後の(1)・(2)の問いに答えなさい。

【会話】

あおい 筆者は宇宙空間で、当たり前だと思っていたことをもう一度自分の目で見て問い直す、という体験をしたんだね。

ひなた 「当たり前」という感覚は人によつてちがうよね。わたしも宇宙の写真を見たことがあつて、きれいだなあと思ったよ。

あおい 同じ「きれい」でも、写真で見ると、実際に宇宙空間から地球を見ているのではちがうんだね。毛利さんが地球は糸でつながれているんじゃないかと感じたのと同じように、筆者も地球をだれかが作つて回していると感じたんだよね。

ひなた つまり、二人とも、本物の地球を目の前にして、地球が宇宙空間にういているという当たり前の光景に、思わず²目をこらしちやつたんだね。

あおい 実際に自分の目で見るつて、大切なことだね。わたしたちが経験したことのない宇宙空間の話だったけれど、³筆者はどのような様子の地球を見てこんなふうに感じたんだらうね。

(1) 【会話】中の——線部2の「目をこらしちやつたんだね」は、「目をこらす」という慣用句を使った表現です。「目をこらす」という慣用句を使って、文を作りなさい。ただし、文章中や【会話】とはちがう文を作りなさい。また、「目をこらして」のように形を変えることはかまいません。

(2) 【会話】中の——線部3に「筆者はどのような様子の地球を見てこんなふうに感じたんだらうね」とありますが、筆者が見たのはどのようなものですか。文章中から三十一字で探し、その初めと終わりの五字をそれぞれそのままぬき出して書きなさい。ただし、句点(。)や読点(、)も字数にふくみます。

問5 筆者の述べたいことの中心を「要旨」といいます。この文章の要旨をまとめ、筆者がこの文章で述べたいことについてあなたが考えることを、次の〈条件〉に合わせて書きなさい。

〈条件〉

- 全体を二段落に分け、第一段落には要旨を、第二段落にはあなたの考えをまとめること。
- 百字以上百六十字以内で書くこと。

※ 気を付けること

- ・ 各段落の最初の字は一字下げて書きます。
- ・ 段落をかえたときの残りのます目は、字数として数えます。
- ・ 句点(。)や読点(、)、かぎ(「」)などが行の先頭に来るときには、前の行の最後の字と同じます目に書きます。

3 次の【文章】と【詩】を読み、後の問1～4に答えなさい。

【文章】

著作権保護のため掲載していません。



【詩】

著作権保護のため掲載していません。

問 1 【文章】中の——線部 1 に「きりがなくなってしまう」とありますが、この「きりがない」と反対の意味で使われている言葉を、【文章】中から六字でそのままぬき出して書きなさい。

問 2 【文章】中の に当てはまる言葉として適切なものを、文章中から二字でそのままぬき出して書きなさい。

問 3 【文章】中の——線部 2 の「赤信号の前で科学がとまる」と同じ内容を、信号のたとえを用いずに述べている一文を、——線部 2 までの文章中から探し、その初めの五字をそのままぬき出して書きなさい。

問 4 あなたは、【文章】と【詩】を読んで考えたことを、自分の学級で発表することになります。どのような題にして、どのような内容を伝えますか。題名を書き、その内容を百字以上百二十字以内で書きなさい。